PART3 日本の大正デモクラシー

Chapter1　政党内閣と普通選挙

目標
戦前の政党内閣成立と終焉，それぞれの背景をおさえよう。
戦前と戦後の選挙権の広がりの流れを理解しよう。

1　政党内閣の登場と展開

①政党内閣の成立と挫折

1912年～**第一次護憲運動**「閥族打破・憲政擁護」

※翌 13年, 第三次桂太郎内閣（陸軍･長州閥）を退陣に追い込む（＝大正政変)。

1918年　〔　　　　　　　〕

※寺内正毅内閣（陸軍・長州閥の“ 非立憲内閣 ”）退陣。

〔　　　　　〕**内閣（立憲政友会）→初の本格的政党内閣**

※戦後恐慌の財政難の中で 1921年に東京駅頭で刺殺。

原敬（立憲政友会）

1921年　高橋是清内閣（立憲政友会）→テロで政権交代はない

②“〔　　　　　　　　　　〕”→戦前の８年にわたる二大政党内閣時代

1924年　**第二次護憲運動**

※清浦奎吾内閣（枢密院・官僚閥の“ 特権内閣 ”）退陣。

〔　　　　　　　　　〕**内閣**（護憲三派のち憲政会単独）

※ 1925年に**普通選挙法制定**。

加藤高明（憲政会）

1926年　第一次若槻礼次郎内閣（憲政会）

※ 1927年の金融恐慌で退陣。

1927年　田中義一内閣（立憲政友会）

※張作霖爆殺事件の処理で昭和天皇の不信を買い退陣。

1929年　**浜口雄幸内閣**（立憲民政党＝もと憲政会）

※ロンドン海軍軍縮条約の統帥権干犯問題で東京駅で撃たれる。

1931年　第二次若槻礼次郎内閣（立憲民政党）→テロで政権交代はない

※満州事変勃発で退陣。

〔　　　　　　　〕**内閣**（立憲政友会）

※満州国を承認せず 1932年の**五・一五事件**で撃たれる。→テロで政権交代

2 普通選挙の開始→選挙権の拡大

1889年　**直接国税〔　　　〕円以上を納める〔　　　〕歳以上の男子**→総人口の 1.1%

※黒田清隆内閣（薩摩）。同年に貴族院令制定。

1900年　直接国税 **10 円**以上を納める **25 歳以上の男子**→総人口の 2.2%

※第二次山県有朋内閣（長州），同年に治安警察法制定。

1919年　直接国税 **3 円**以上を納める **25 歳以上の男子**→総人口の 5.5%

※原敬内閣（立憲政友会）。

1925年　**25 歳以上の男子〔　　　〕選挙**→総人口の約 2 割

※**加藤高明内閣**（護憲三派），同年に治安維持法制定。

・・

1945年　〔　　　〕**歳以上の国民**→総人口の約 5 割，**女性参政権の実現**

※幣原喜重郎内閣（文官）。

2015年　〔　　　〕**歳以上の国民**→総人口の約 84%

※第三次安倍晋三内閣（自由民主党）。

まとめ　護憲運動などを背景に政党内閣が成立し，テロ事件などを経て終焉した。戦前も財産条件が緩和されていったが男子に限られ，女性参政権が認められたのは戦後であった。

Chapter2　社会運動の展開

目標
欧米の民主化と，日本の大正デモクラシーの重要な違いを理解しよう。
普通選挙運動と比べたときの，各種の社会運動の特色をおさえよう。

1　“大正デモクラシー”の風潮

あくまでも天皇主権である大日本帝国憲法の枠内で，言論・出版・集会など市民的自由の拡大と大衆の政治参加（政党政治・普通選挙）を求める大正～昭和時代前期の風潮。
※背景は第一次世界大戦（1914～18年)，ロシア革命とソ連の成立（1917～22年)。また，国内では米騒動の全国的拡大（1918年）

①啓蒙運動
1916年　東京帝国大学教授**吉野作造**の**民本主義**が総合雑誌『中央公論』誌上で発表
1918年　黎明会の結成→吉野作造・福田徳三ら
　　　　（東大）新人会の結成→吉野作造の影響下に赤松克磨ら

②**社会主義運動の再燃**→大逆事件以降の“冬の時代”を脱出
1918年　白虹事件→米騒動に対する大阪朝日新聞筆禍事件
1920年　森戸事件→東大助教授２名が休職処分
　　　　日本社会主義同盟の結成→社会主義者の大同団結
1922年　〔　　　　　　　　　〕の結成→非合法の地下組織
　　　　※コミンテルン〔第３インターナショナル〕の指導。

③国家改造運動
ヴェルサイユ条約調印，朝鮮の三･一運動，中国の五･四運動を背景に，超国家主義者たちが展開。
1919年　猶存社の結成→右翼の**北一輝**（『日本改造法案大綱』の著者)･大川周明ら

北一輝

④普通選挙運動
最終的に官僚と政党が妥協。→社会主義運動の広がりを防止するためのガス抜き

2 社会運動の展開

①〔　　　　　〕**運動**→資本家と労働者による**労働争議**

1912年　**友愛会**の結成→鈴木文治ら

※労働組合期成会の後継となる**労資協調主義**。

1918年　米騒動

1919年　大日本労働総同盟友愛会の結成

1920年　戦後恐慌

第１回**メーデー**

1921年　**日本労働総同盟**の結成→〔　　　　　　　　〕主義へ

1925年　日本労働組合評議会の結成→日本労働総同盟を除名された左派

1926年　労働争議調停法

②〔　　　　　〕**運動**→寄生地主と小作人による**小作争議**

1922年　**日本農民組合**の結成→**賀川豊彦**・杉山元治郎ら

1924年　小作調停法

③**婦人運動**→自由民権運動の岸田俊子・景山英子や廃娼運動の矢島楫子らが先駆

1911年　**青鞜社**の結成→〔　　　　　　　　　　　　〕らの女性文学団体

※**雑誌**『〔　　　　　〕』「元始，女性は実に太陽であった」

1920年　**新婦人協会**の結成→平塚らいてう・**市川房枝**ら

1921年　赤瀾会の結成→山川菊栄・伊藤野枝らの社会主義団体

1922年　治安警察法改正により女性の政治演説会への参加が認められる

1924年　婦人参政権獲得期成同盟会の結成→市川房枝ら

④〔　　　　　　　　〕**運動**〔水平運動〕→「新平民」と差別された人々自らの運動

1922年　〔　　　　　　　　　　〕の結成

※西光万吉の『水平社宣言』「人の世に熱あれ，人間に光あれ」

まとめ　日本の大正デモクラシーは，あくまで天皇主権の枠内での民主化にとどまった。
普通選挙運動以外の社会運動は，当事者が声を上げたことに特色がある。

第10講　PART3　確認問題

1　第一次護憲運動が始まった翌年に退陣した内閣はどれか。

①　清浦奎吾内閣　　②　第一次若槻礼次郎内閣
③　寺内正毅内閣　　④　第三次桂太郎内閣

2　初の本格的政党内閣を組織した原敬首相は何という党の総裁か。

①　立憲民政党　　②　憲政会
③　立憲政友会　　④　政友本党

3　1925年に普通選挙法を成立させた内閣はどれか。

①　田中義一内閣　　②　加藤高明内閣
③　清浦奎吾内閣　　④　浜口雄幸内閣

4　浜口雄幸内閣のときのできごとはどれか。

①　金輸出再禁止の実施
②　ロンドン海軍軍縮条約の統帥権干犯問題
③　張作霖爆殺事件の処理
④　治安維持法の制定

5　大日本帝国憲法発布当初，選挙権を有した者はどれか。

①　直接国税 15 円以上を納める 25 歳以上の男子
②　直接国税 10 円以上を納める 25 歳以上の男子
③　25 歳以上のすべての男子
④　20 歳以上のすべての国民

6 『日本改造法案大綱』の著者で，1919年に猶存社を結成したのはだれか。

① 鈴木文治　② 北一輝
③ 福田徳三　④ 赤松克麿

7 1912年に鈴木文治らが結成した労働団体はどれか。

① 友愛会　② 赤瀾会
③ 黎明会　④ （東大）新人会

8 階級闘争主義へ転換し，1921年に結成された労働団体はどれか。

① 大日本産業報国会　② 大日本労働総同盟友愛会
③ 日本労働組合評議会　④ 日本労働総同盟

9 1922年に日本農民組合を結成したのはだれか。

① 賀川豊彦　② 鈴木文治
③ 山川均　④ 北一輝

10 1911年に青鞜社を結成したのはだれか。

① 山川菊栄　② 平塚らいてう
③ 景山英子　④ 市川房枝

第 10 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：④

第一次護憲運動は 1912 年から始まった。第三次桂太郎内閣が退陣に追い込まれたできごとを大正政変という。

①：1924 年に退陣した。
②：1927 年の金融恐慌で退陣した。
③：1918 年の米騒動で退陣した。

2 解答：③

原敬首相は，寺内正毅内閣の総辞職後，政党内閣を組織した。

①：浜口雄幸首相などが総裁だった政党。
②：若槻礼次郎首相などが総裁だった政党。
④：立憲政友会内の清浦内閣支持派が 1924 年に分裂してつくった政党。のち憲政会と合同して立憲民政党を結成した。

3 解答：②

加藤高明内閣（1924 ~ 26 年）は当初，護憲三派連立内閣であった。

①：金融恐慌を処理した内閣（1927 ~ 29 年）。
③：貴族院中心の特権内閣（1924 年）。
④：財政緊縮・産業合理化・金輸出解禁を実施した内閣（1929 ~ 31 年）。

4 解答：②

浜口雄幸内閣（1929 ~ 31 年）は，財政緊縮・産業合理化・金解禁なども実施した。

①：犬養毅内閣（1931 ~ 32 年）。
③：田中義一内閣（1927 ~ 29 年）。
④：加藤高明内閣（1924 ~ 26 年）。

5 解答：①

黒田清隆内閣のときで，有権者数は総人口の 1.1%にすぎなかった。

②：1900 年，第二次山県有朋内閣のとき。
③：1925 年，加藤高明内閣のとき。
④：1945 年，幣原喜重郎内閣のとき。

6 解答：②

『日本改造法案大綱』では，国家社会主義的国家改造を強調した。

①：1912 年に友愛会を結成した。
③：1918 年に黎明会を結成した。
④：1918 年に（東大）新人会を結成した。

7 解答：①

労資協調主義であったが，次第に変更されていき，1921 年には日本労働総同盟となった。

②：1921 年に山川菊栄・伊藤野枝らが結成した社会主義団体。
③：1918 年に吉野作造・福田徳三らが結成した思想団体。
④：1918 年に赤松克麿らが結成した思想団体。

8 解答：④

階級闘争とは，資本家に対してストライキなどの直接行動で戦うこと。

①：1940 年に結成された，戦時体制下における戦争協力のための労働団体。
②：日本労働総同盟の前身。
③：1925 年に結成された，日本共産党の影響を強く受けた労働団体。

9 **解答：①**　日本農民組合は，日本最初の小作人の全国組織組合である。

②：1912 年に友愛会を結成した。
③：日本共産党の創設に参画した。
④：1919 年に猶存社を結成した。

10 **解答：②**　青鞜社は，女性の感性の解放を目指す，女性のみの文学団体。

①：1921 年に赤瀾会を結成した。
③：自由民権運動を推進した。
④：1920 年に新婦人協会を結成した。